

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

DATA in 九州

今月の注目データ

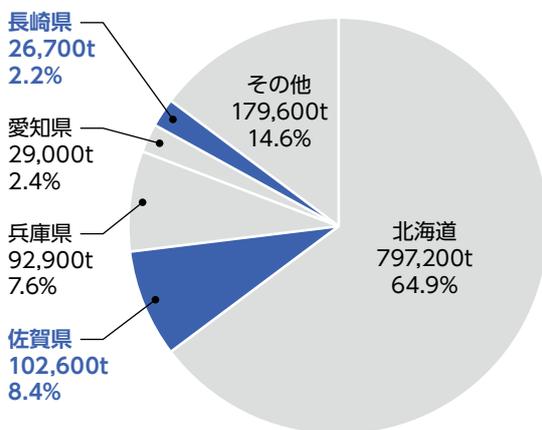
たまねぎの収穫量

たまねぎは品種や産地に幅があるため、ほぼ一年中全国で収穫されていますが、生食でも美味しい「新たまねぎ」は3月から5月頃までの限られた時期に旬を迎えます。そこで都道府県別にたまねぎの収穫量を見てみると、トップの北海道(64.9%)に次いで第2位に佐賀県(8.4%)が続いています。北海道産のたまねぎは概ね秋から春にかけて出荷されるため、春から秋にかけては主に佐賀県産のたまねぎが全国に流通しています。

佐賀県におけるたまねぎ栽培は1962年(昭和37年)に始まり、米の収穫後に栽培する作物として作付農家が増えました。とりわけ県内収穫量の約6割を占める白石町がある佐賀平野はミネラル分が豊富な重粘土質の土壌のため、栄養価が高く、甘みもほどよいたまねぎの産地となっています。

佐賀県産のたまねぎは長期出荷できることも特徴で、3月中旬から極早生品種「貴錦」^{たかしき}が出荷されると、その後も早生、中生、晩生と品種をつないで10月までの長期間にわたって出荷します。なかでも3月から4月に出荷される「さが春一番たまねぎ」は、辛みがほとんどなく甘味が強いいため、スライスしてそのままサラダなど生食で美味しくいただけます。

たまねぎの収穫量



出所：農林水産省 作物統計調査「平成29年産野菜生産出荷統計」を基に
FFGビジネスコンサルティング作成

